「カコモンにTRY!」特別版

2019年 春 入試問題紹介

教科担当者が選ぶ「この1問」

保護者向け総合情報サイト「さぽナビ」で好評連載中の「カコモンにTRY!」の特別版として、数ある難関校のなかから中学受験コースの教科担当者が選んだ、差がつく「この1問」をご紹介します。まだこれらの問題が解ける必要はありませんが、この機会に難関中学の入試問題を体験してみてください。

国語担当者が選ぶこの1問

R.N.

灘中学校　1日目 大問四

四　次の1～5の各組の□に同じ漢字一字を入れると、三つの言葉ができ上がります。□に入れるのに適当な漢字をそれぞれ答えなさい。

5	4	3	2	1
今□	夕□	年□	大□	時□
王□	平□	屋□	□乳	交□
□飯前	□用品	□すべり	□知識	千□紙

三つの言葉にあてはまる同じ漢字一字を答える問題

知らない言葉は辞書で調べ意識して語彙を増やしていこう

空欄に共通する漢字を入れて言葉を作る問題です。答えとなる漢字自体は難しくありませんが、完成する言葉を知らないと時間を取られてしまう問題です。空欄の前後をヒントにして、あてはまる漢字は何かを考えていくとよいでしょう。灘中学校1日目の入試は言葉の問題が中心ですが、前半に短めの読解問題が出題されることが多いです。今年はとくに、読解問題の設問の一つに50字以上100字以内の作文が出題されていましたので、そこに時間を残すためにもここはスムーズに解いておきたい問題です。

差がつく! 学習アドバイス

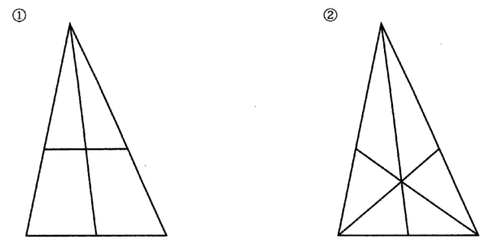
言葉の問題に時間をかけずに解くためにはまず、自分の言葉の知識を増やす努力をしていきましょう。言葉の知識は一朝一夕で身につくものではありません。日ごろからアンテナを張って、自分の知らない言葉は辞書などを使って調べたり、調べた言葉を書きとめる自分専用のノートを作成したりするなど工夫をして学習をしましょう。また、今回の問題では漢字の読みにも注目です。同じ漢字を入れても完成した言葉によってどう読み方が変化するのか、ということにも意識して取り組んでみてください。

算数担当者が選ぶこの1問

江上 智美

慶應義塾普通部　第5問

5.　下の図に、三角形はいくつありますか。それぞれ求めなさい。



シンプルな出題だからこそ確実に数え上げたい場合の数の問題

規則的・体系的な数え上げが重要

図形を題材とした、場合の数の問題です。手当たり次第に数えて数えもれや重複を起こさないよう、規則的・体系的な数え上げを心がけましょう。
本問は、問題文がたいへん簡潔にまとめられていますが、この1文から何を求められているのかを読み取ることも含めて「求められている能力」と考えるのが妥当でしょう。この読み取り能力は経験に左右される部分が大きいので、バリエーションに富んだ問題に触れ、出題者の意図を把握する訓練を積むことも重要です。

差がつく! 学習アドバイス

「数える」こと自体は小学1年生からなじんでいることですが、システマチックに「数え上げる」ことはまったく別の技術として習得が必要です。今回の問題に限らず、まちがえた問題については必ず原因を探り、自分がまちがえやすい箇所を把握していくようにしましょう。
Z会中学受験コース算数では、3年生の1月で「数え上げ」、4年生の12月で「場合の数」をテーマとした学習を行います。入試で頻出の場合の数の基本を扱っているので、考え方をマスターし、5年以降の実戦演習に備えましょう。

理科担当者が選ぶこの1問

高安 智子

東大寺学園中学校　1(5)(6)

(5)　次の植物が種子にたくわえる栄養として，最も多いものは何ですか。下の**ア**～**オ**からそれぞれ１つずつ選んで記号で答えなさい。
①　イネ　　②　ゴマ
ア　炭水化物　　**イ**　タンパク質　　**ウ**　脂質　　**エ**　ビタミン　　**オ**　ミネラル

(6)　次の植物のおもな食用部分はどこですか。下の**ア**～**オ**からそれぞれ１つずつ選んで記号で答えなさい。ただし同じものを何度選んでもかまいません。
①　アスパラガス　　②　サトイモ　　③　ラッカセイ　　④　ブロッコリー　　⑤　ダイズ
ア　根　　**イ**　茎　　**ウ**　葉　　**エ**　花　　**オ**　種子

食卓で目にすることも多い身近な植物についての問題

身近なものと理科を結びつけて考える

理科の入試では、身近なものと理科を結びつけた問題が出題されることがあります。ここでは、食用の植物についての問題を取り上げました。どの植物も普段から食卓でよく見かけるものかと思いますが、どのような栄養が含まれているか、どの部分を食べているかを意識したことはあるでしょうか。このような問題は、普段の生活の中で、身近な理科について意識したり疑問をもったりしてきたかで差がつきます。食卓に関するものでは、植物のほか、魚などを題材にした問題がよく出題されています。

差がつく! 学習アドバイス

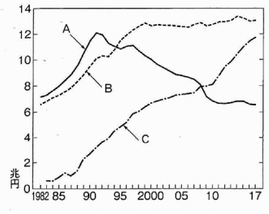
今回取り上げた問題は、Z会の中学受験コースでは、5年生以降に学習する内容が含まれていますが、この問題のように、身近なものと理科を結びつけて考えられるものは、3･4年生で学習する内容にも多くあります。
3･4年生の理科では、基礎的な知識をしっかり固めることと、身のまわりの自然や事象などに興味をもつことが大切です。体験を重視し、自然科学などに関するニュースを見たり、興味をもった事象について調べたりすることをおすすめします。

社会担当者が選ぶこの1問

西田 聡美

フェリス女学院中学校　1　B-b

b　次のグラフは百貨店、コンビニエンスストア、大型スーパーの年間販売額を示しています。百貨店の説明として正しいものをア～ウから一つ選びなさい。



矢野恒太記念会『日本国勢図会2018／19年版』より作成。

ア　景気の低迷（ていめい）や人々の生活様式の変化により、販売額が少なくなってきたAが百貨店である。
イ　自動車が普及（ふきゅう）し、郊外で買い物をする人々が増えたことで販売額が増加したBが百貨店である。
ウ　日本に来る外国人旅行者が多くの買い物をしているため、販売額が急増しているCが百貨店である。

グラフを読み取り正しい説明文を選ぶ問題

身近なところから経済の動向やしくみに目を向けよう

百貨店･コンビニエンスストア･大型スーパーの年間販売額の推移を示したグラフと、百貨店について説明した文を組み合せる問題です。
グラフからA～Cの傾向を読み取り、百貨店について正しく説明している文を選びます。選択肢ア～ウの、「少なくなってきたA」、「増加したB」、「急増しているC」という部分は、グラフを正しく読み取っています。百貨店の年間販売額が近年少なくなってきたことを知っていると、グラフから判断できます。しかし、そのことを知らなくても、文中の「景気の低迷」「郊外で買い物」「外国人旅行者」などの言葉に着目して、理由とともに判断できるかがポイントです。

差がつく! 学習アドバイス

3･4年の社会の学習では、身近な社会に対する興味･関心を養うことが大切です。コンビニエンスストアやスーパーなど、生活とかかわりのあることがらから経済の動向やしくみを考えてみるとよいでしょう。今年10月から実施される予定の「消費増税」の影響や「ネットショップ」の台頭など、買い物に関連することは入試で問われやすいテーマとなっています。
また、統計資料を扱った問題は、表やグラフを暗記するのではなく、そこからどのような傾向や特徴などが読み取れるのか、その背景は何かを考えることが大切です。

ここでご紹介した入試問題の解答･解説は、4月25日に保護者向け総合情報サイト「さぽナビ」に掲載します。

「さぽナビ」へのアクセス方法　●「Z会MyPage　8739ねっと」のトップページより　「さぽナビ」アドレス　https://www.zkai.co.jp/saponavi/el/